第26回
浜松市芸術祭
演劇公演

日時　昭和55年11月9日(日)
　　午後1時00分　開場
　　午後1時30分　開演
会場　浜松市民会館ホール
主催　浜松市教育委員会
主管　浜松社会人演劇連盟

13時30分～15時　**浜松放送劇団**

※静岡県芸術祭演劇コンクール参加作品

村越　一哲　作　　**昔噺「打出之小槌物語」**(三幕)

《スタッフ》

演出	村越一哲	舞台監督	小栗雅史
装置	西脇章	効果	三ツ井康雄
	中村昂平	衣裳	富田洋子
照明	牧野照彦		中川まち子
	石川庄治		鈴木万起子

《キャスト》

寸太郎	高崎勝則	つち	岡本緑
庄屋	岡本和孝	和尚	古賀昭隆
ふか	鈴木美津江	お雪	大場寿子
かつ	田中てるみ	喜平	西脇章
江川兵馬太	嶋春善		
泥捧	山下幸男	長吉	金子紀明
次郎吉	斉藤正直	とも	鈴木智子
みの	尾上仁美	たみ	三輪由美子
すま	鈴木真実	話者	田中てるみ

…あらすじ…

▲……むかしむかし、そのむかし……一寸法師が打出の小槌を持って余生を送ったという、一寸村に起った物語です……▼

一寸法師の孫の孫のその又孫の寸太郎は、母つちと二人でこの一寸村に暮していました。つちは、無類の働き者ですが、息子の寸太郎は全くの怠け者で、村の人達からは何時も屁馬鹿にされてばかりいます。

村の庄屋様や和尚様などの支配層の人々からは勿論のこと、叔母のふかさんにも問題にされません。……と云うのも「自分の家が極めて貧乏であるから皆なが自分を馬鹿にするのだ」と信じこんでいる寸太郎は、先祖の一寸法師が何処かに隠したという“打出の小槌”を何とかして探し出してやろう、そして自分を屁馬鹿にする村の皆を見返してやろうと、大童です。

つちは“一寸法師様は子供や孫たちが無茶苦茶に小槌を振り、余りにもぜいたく三昧な暮しをしたのでこれでは子孫のためにならない、と何処か誰にも分らない所へ隠したんだよ。……そして、その後何十人と云う御先祖様たちが探し廻ったが行方は一向に分らない。だからお前もそんな夢のようなことは考えずに、少しは真面目に働いたら……”と云うのですが、寸太郎は……。

劇団研究生を募集しています。

演出、演技、装置、効果、等　御希望の方は、どなたでも歓迎します。
下記へご連絡下さい。

浜松市鍛冶町140－4　丸市商事内
浜松放送劇団　☎54－8151

15時15分～16時15分　**劇団からっかぜ**

※静岡県芸術祭演劇コンクール参加作品

しかたしん　作　**「はやてに走れ、あまんじゃく」**

《スタッフ》

演出	最上三平	効果	良知信一
舞台監督	西井学		坂本信一
舞台美術	布施佑一郎	衣裳	上村翔子
照明	平井新	メイク	あきあゆみ

《キャスト》

あまんじゃく	戸田平助	村の子供達	
もも	内藤裕子	はな	上村翔子
さんぺい	宮下公平	太郎	坂本信二
カラス	西井　学	よしえ	あきあゆみ
		その他	風見ユミ

…おはなし…

昔、人間に悪戯(わるさ)をするといわれる“あまんじゃく”が、人間と仲良くしようとしてひどい目にあわされるお話。

ある日、村の子供達がいつものように“あまんじゃく”をからかっていました。怒った“あまんじゃく”を見て子供達はこぞって逃げ出しましたが、途中で“もも”という女の子がころんでケガをします。“もも”はガキ大将の“さんぺい”に助けを求めましたが“さんぺい”は“あまんじゃく”につかまる事を恐れて逃げてしまいます。なんでも“あまんじゃく”につかまると、ひどい目にあわされるという事でした。ところが“もも”をつかまえた“あまんじゃく”は一目見て“もも”を好きになってしまうのです。

さて、それから……。

…劇団紹介…

私達のことを知らない人は名前だけでも、名前だけ知っている人はそれ以上に知って欲しい。

私達は、昼間は仕事をして夜は芝居創りと、ヤングパワーあふれる劇団です。つまりアマチュア劇団といわれるものです。その他に自立劇団とか、地域劇団とか呼ばれています。

芝居って、楽しいですヨ。なんといっても舞台の上でライトをあびて、お客さんの注目を一心に受けるこの感覚は、たまらなくいいものなのです。生まれて初めて舞台に出た役者さんなんかは、それが一生の思い出になるとか！

また、苦節26年目にして念願の稽古場が、浜松は中田町に出来ました。

一度、落成した稽古場へ遊びに来て下さい。

第17期研究生募集中！

みなさん、こんにちは！只今、劇団からっかぜでは17期研究生を募集しています。現在は若手女性4名で活動中。

練習日は月・水・土で午後7時から9時まで、みんな仕事が終わって駆けつけるという情熱であります。若いうちに何かをやりたいと思っている人、誰でも入ってきやすい劇団ですので、一度見学に来てみて下さい。電話をくだされば、稽古場への道順を詳しくお教えします。17期はあなたを待っています。

浜松市中田町595の2　☎63－6011

劇団からっかぜ

16時30分～17時15分　**劇団ちゃ茶**

神宮茂十郎　作　　「萩の花」

《スタッフ》

演出	伊藤哲子	舞台監督	山内ひろみ
装置	神谷真由美	効果	岡本宏子
照明	福田清美	衣裳・メイク	今田晴子

《キャスト》

よう（百姓の姉娘）	岡本宏子
みつ（〃 妹娘）	今田晴子
りく（武家の姉娘）	神谷真由美
たか（〃 妹娘）	福田清美
老婆	伊藤哲子
のぶ（狂女）	山内ひろみ

…あらすじ…

1868年、旧幕府軍は戊辰戦争に敗れ、次第に追いつめられていた。ここ仙台でも、戦死した父になりかわり、あくまで戦い抜こうとする武士の姉妹りくとたかがいた。蝦夷に行く途中、今度の戦いで父と兄を人足にとられた百姓の娘みつに出会う。

幼いみつは、かたくなに御家を守ろうとするりく達に無邪気な疑問を感じながらも次第に心を開いてゆく。

が、やがてそこへ父達の惨状を聞いて来たみつの姉ようが戻ってきて、りくに激しい怒りをぶつけ始める。

そして、ついに……

〖劇団紹介〗

今年3月に結成したばかりの劇団です。この芸術祭にはもちろん初参加……そして劇団ちゃ茶の初公演。団員一同、ドキ、ドキ。

私達「ちゃ茶」は、女性ばかりの劇団です。女ばかりというのもなかなか楽しいものです……（ホント？）

今回の作品は、悲劇ですが団員一同喜劇向きの顔をしているので心配です……？。

「劇団ちゃ茶」、小ちゃな劇団ですが今後もどうぞよろしくお願い致します。

17時30分～18時40分　浜松短期大学II部

演劇サークル「鬼の村」

柴田　北彦　作　　「ダイナマイトと蛙たち」（一幕二場）

《スタッフ》

演　出	外山喜章	舞台監督	伊藤耕一
装　置	伊藤耕一	効　果	高柳正行
照　明	大場章吾	衣　裳	新田政子
	大野春雄	メイク	新田政子
情　宣	鈴木宏和	その他協力者数名	
	伊藤展安		

《キャスト》

リ　ロ	平尾弘子	ミ　ロ	宇田香登美
ケ　ロ	竹下芳彦	ガ　ロ	渡瀬君子
ペ　ロ	宮沢太嘉江	解説の声	外山喜章

〖サークル紹介〗

私たち、浜松短期大学II部は、商科、幼児科各一クラスで女子の多い大学です。

II部の学生は、昼間働いて夜は8時40分まで講義があり、サークル活動はその後の1時間ほどしかありません。そのため、サークル活動をやっている人は少なく、まして演劇活動を進んでやろうという積極的な人はそうざらにいるものではありません。

そう云う私も、消極的な人間でした。ステージに立ち自分の姿を人に見せる、声を聞かせる…なんと恥かしいことかと……。

人がたりなくて困っている「鬼の村」…見過す訳にはいかなかったのです。

そして今、私は二年生。

人がたりなくて困っています。一生懸命頼みこんで三名入部してくれました。もちろん演劇などやったことはありません。おもしろさというものも知りません。皆さんで教えてやって下さい。

昼間仕事、夜勉強、その合間に活動を続けてきた私たちですが、浜松市芸術祭に参加させていたゞき感激しています。どうぞ最後までご観劇いたゞき、そして派手なアドバイスをお願い致します。